

ちょうふの自然環境 ほんとの良さを伝えたい！—佐須・深大寺地区— ～里山・たんぼ・湧水・水路・崖線・雑木林&歴史・文化・ひと～

ちょうふ環境市民懇談会では、調布市環境管理計画見直し（環境基本計画策定）の機会に合わせ、8月と9月の運営会議にて、ちょうふ環境市民懇談会が今後10年間でとりくみたいことを話し合いました。

今後10年間でとりくみたいこと

都内でも貴重な自然資源である崖線・深大寺地区を保全する
継続的に環境に関わる市民を増やす
（ファンクラブ2万人・緑のサポーター制度）

すぐにとりくむ活動

- ・多くの人に佐須・深大寺地区をPRする

長期的にとりくむ活動

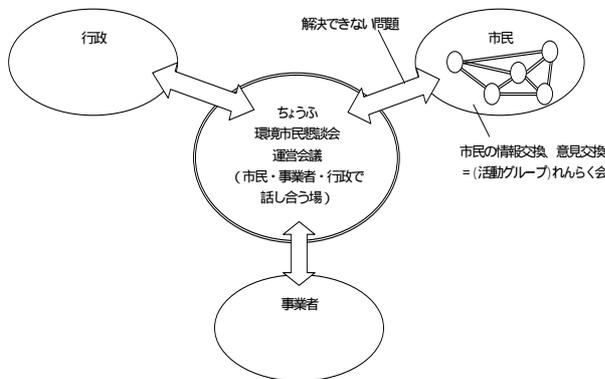
- ・市民活動の法人化
- ・市民が一部の場所からでも（自然環境を）管理していく

とりくみの内容は、今後ちょうふ環境市民懇談会運営会議や、運営委員の話し合いで具体的なものにしていきます。

とりくみの詳細や佐須深大寺地区の紹介は今後も自然だよりでもお知らせしていきます。

・こんな活動をしてみたいなどあなたのご意見をお寄せ下さい。

ちょうふ環境市民懇談会 とは



市民、事業者、行政のパートナーシップのもとに、今ある調布の自然を大切に、また失われつつある自然を改善するために設立された「しくみ(場)」です。目的を理解し、活動に携わろうとする人は誰でも参加できます。

現在、市民・事業者・行政の3者で調布の自然環境について話しあう場「運営会議」と、市民の情報交換、意見交換をおこなう「(活動グループ)れんらく会」の2つの場があります。現在、それぞれ月に1回の会合を行っています。詳しい日程は4面をご覧くださいー

深大寺・佐須のいいところ ①

ここは柏野小学校裏、国分寺崖線の緑地帯に連なるかに山といわれる雑木林の間にある通称引き摺り坂と呼ばれる間道のひとつです。かに山の名前の由来は、崖線から湧き出る清水の小川にたくさんの沢がにがいたことからといわれています。当時、湧き水があったころは、さらにひんやりとしていたのかなあと想像されます。このひんやりとした風は、ただ日陰であるというだけではなく、木々の葉から水分が蒸発する蒸散作用によるものです。水が気化する際に必要な熱が奪われることで、葉が冷えるわけです。葉から蒸発した水分は、根から吸い上げた水分で補給され、葉が枯れることを防いでいます。昔の人は、住宅の回りに大きくなる落葉樹を植えて、夏涼しく、冬暖かい環境を作り出していました。（尾辻義和）



写真右手の緑が「かに山」と呼ばれています

入間・樹林の会

9月18日、3連休の中日のせいか参加者は少なめ。

樹林地にはじめて落ち葉溜めを作りました。市有地領域には竹ヤブはあるのですが竹の本数が少ないため、廃棄される木製のパレットをもらい受け、角材で枠を固定し、プラモデルのように組み立てました。傾斜地の途中部分に設置しましたが、景観にマッチしています。大きいので天地返しも楽にできそうでこれも楽しみの一つになりそうです。設置場所は、落葉樹の多い区域なので、たくさん落ち葉を積み上げたらカブトムシの楽園になることでしょう。



廃棄されるパレットを使った落ち葉溜め

台風が2回通過したためか、折れた枝があちこちにありました。樹林地内が整備されると、枯れた立ち木が目立ちます。倒れると危険なので、次回活動日には伐採する木を選ぶことにしました。

12月には児童館との交流を予定し、今後の作業にも楽しみが増えています。(本多)

入間・樹林の会から もうひとつお知らせ



入間・樹林の会「コカ・コーラ環境教育賞」受賞(7月1日づけ読売新聞で報道)の、賞状が届きました!

今までの地道な活動が



高く評価されました。

調布DE田んぼ日記

~今年の案山子(かかし)は強いぞ~

9月4日は田んぼで、朝から生き物観察と案山子作り。学校の子供たちは前日から準備していたらしく、手際のよいこと。あつという間に立派な案山子が10体できあがってしまいました(自分は遅れて、時間ぎりぎりまでかかりました)。しかも、直後の台風14号の強風以来、悪天候に負けず、一つとして壊れたものはなく、今も立派に田んぼを守ってくれています。おかげでズメはあまり見かけません。稲穂も十分に垂れ下がりました。収穫量はどのくらいか、味はどうでしょうか、今年もいよいよクライマックス。刈り取りの時期が楽しみです。



田んぼを守っている案山子たち

炭焼きキャンプはまたの楽しみに
9月24日は炭焼きキャンプの予定でしたが、あいにくの台風接近のため中止となりました。この続きはまた10月に。これから田んぼの作業は目白押しです。稲刈り、はざ架け、脱穀、そして来年の準備。来月はレンゲの種まき、初摺り精米、落ち葉集めと堆肥作り、収穫祭など、一年の締めくくりの時期です。今年も良い年になりそうです。

(田んぼの学校 こんどう)

みのった 稲穂

環境モニター

9/3(土): 多摩川ワンド~府中用水下流: 参加者8名 環境モニターの今年度の目標の「(固定の)フィールド以外の植物も記録する」に向けて、今回は固定のフィールドを観察せず、範囲外の植物を観察、記録しました。

今回見られた鳥は、アオサギ、カワウ、コサギでした。声だけであればカワセミもいたようでした。また、工事のため多摩川住宅の近くにできた石河原に、カラスがたくさんいました。

府中用水を橋の上から見ると、魚がたくさん泳いでいました。種類は、たぶんウグイなどとのこと。

植物は、メドハギ、ツルマメ、ヤハズソウなど、秋のマメ科の花がきれいに咲いていました。

キンエノコロの穂をライターであぶって食べてみました。ポップコーンになるという話でしたが、はねないで焦げてしまいました。焼きとうもろこしのような味がしましたが、あまり美味しくありませんでした。もっと実が稔ったらポップコーンになるのでしょうか...?



シヨクヨウガヤツリを確かめる

(はにゅうだ)

カニ山の会

9/10(土)うす曇り・参加者8名
看板設置・植物調査練習・笹刈り

「調布カニ山の会」看板を3枚、樹林に設置し、活動を行っていることをわかってもらうようにしました。また、毎木調査の解析に関して小林さんから説明を聞き、10m四方を設定してその中の一部分を調査しました。今回の調査は思ったより時間がかかり、少ししかできなかったので次回は5mで杭を打つなど、やり方を考えて続きをやる予定です。

作業としては、北東角の笹刈りをして、実生のコナラに日が当たるようにしました。10月は草本調査の予定でしたが、実生木がかなり出ているので実生木の調査をするか、考えるつもりです。他、12月には落ち葉溜め(笹処理場)を設置する予定です。

11月12日(土)
イベント計画中!

かに山の木や自然で楽しむイベントを行います!お楽しみに!

調布の自然学習ボランティア 森田育美さん



二つの川を抱く緑豊かな街、調布。私が生まれ育ったのはネオン瞬く新宿でしたから、全く正反対の環境でした。とは言え数十年前の事ですから 身近には言い難いものの道端の草花で遊んだ記憶が残っています。20年程前に移り住んで来ましたが、この恵まれた環境とは疎遠な暮らしがりやで或るキッカケで再び土を踏む時間を与えられるようになりました。多摩川の土手を吹き抜ける風、噓せかえるほどの雨上りの草の匂い、騒音に馴れた耳で聞き分けにくい水音、肌に感じる陽射しの暖かさは、鈍った五感を揺さぶり、自分の存在を身体を通して感じさせてくれました。

今、小学校の自然学習ボランティア活動のお手伝いをしていますが、子供達の全身で夢中になって動いている姿や子供の目線から出てくる言葉の中に、自然の懐で育まれている魂を見つけました。実は私は大の虫嫌い。幼い頃に訪れた田舎で「都会っこ」と虫でいじめられたのがトラウマとなって今でも苦手です。しかし子供達の前では変な先入観を与えてはいけないと思い「虫を掴んでいるこの手は私の手じゃない」等と心の中で呪文を唱えながら必死に自分と戦っています。こんな滑稽な事をしてまでも自然と関わって行きたいと思っているのは、自分の住んでいる土地と親密になる事で、何が大切で何を守って行くべきかを見極める目が培われ、それらを気付き感じる力は生きるという行為を支えてくれると思えるからです。すぐ傍の近所の草むらから、様々な気付きの嬉しさと、それを共有出来る楽しさと、いつも色々贈られています。調布の自然が地域の人達の手でいつまでも大事にされていく事を願い、気付きのお手伝いをして行きたいと思っています。

~ちょうふ環境市民懇談会~

(活動グループ)れんらく会

9月20日(火)18:30~21:00 出席:5名
場所:たづくり10階花木

1.活動グループ情報交換

- ・環境モニター:今後植物調査の活動地点を変更、深大寺周辺を検討中、10/1PMに下見する。意見:現在、多摩川を調査しているのだから、次は野川を調査して比較するのはどうか。
- ・他、活動グループ情報交換(人間樹林の会、カニ山の会、凸凹山、こどもエコクラブ、田んぼの学校、ねこじゃらし、野川流域連絡会、柏野小サポーター)
- ・意見交換:実篤公園付近の生活道路のクヌギ伐採に対する地元住民の反対・手入れ困難になって生じる個人宅の伐採問題について等

2.全体会について

- ・名称の前に、内容を検討すべきでは。
- ・全体会の活動紹介展示・体験コーナーは、環境フェアで行えばどうか。中庭+東庭:呼び込みのための丸太切りなど。季節的にも人間など別会場のイベント企画があってもいい。メイン会場は、11F みんなの広場:前庭で切った丸太の加工ができるようなコーナーを設けるのも1案。
- ・今年度2/11の全体会では、運営委員の選出・パネル展示と「とことん討論」を行ってはどうか。討論のテーマ案として「環境基本計画の策定を受けて、それを具体化するために活動グループはどのような活動を展開すべきか」

運営会議 1面に報告掲載のため補足のみ記載。

9月12日(月)18:30~21:30 たづくり303
出席:5名 今年度の全体会2/11(土)準備について

環境保全課の窓口

「第4回環境基本計画策定委員会」開催

日時:9月22日(木)18:00~20:30
場所:文化会館たづくり10階 1002学習室
前回に引き続き、重点テーマ 緑と水・景観、地球温暖化・ごみ、進行管理 の3つのグループに分かれ、ワークショップ形式で議論しました。今回は具体的施策を視野に入れての検討を行いました。

「第5回環境基本計画策定委員会」開催予定

日時:10月12日(木)18:00~21:30
場所:文化会館たづくり9階 研修室
重点テーマのまとめと全体会

お世話になりました。

佐々木が情報管理課に異動しました。

調布市役所最初の職場が環境保全課でした。皆様には4年半大変お世話になり、ありがとうございました。

よろしくお願ひします。

早野が新しく加わりました。

はじめまして、早野陽子(はやのようこ)です。10月に調布市役所に入所した新人です。市民の皆様とともに一から勉強していきたく思っておりますので、よろしくお願ひします。

保全活動・イベント案内

調布市環境モニター

11/5(土) 9:30~12:00

集合場所: 保全課にお問い合わせください

内容: 植物調査など

今年度は通年、植物調査をしています。また年2回調布の見所を紹介する「調布・そぞろ歩き」を実施しています。企画・案内のできる方歓迎です。市環境保全課までご連絡ください。

カニ山の会

日時: 10/8(土) 10:00~12:30

場所: 深大寺自然広場入り口集合(野草園前)

内容: 植物調査/11月イベントの準備 など

原則第2土曜が活動日です。興味のある方、お近くの方、どうぞご参加ください。

人間・樹林の会

10/16(日) 9:30~12:30 人間地域福祉センター集合 / 内容: 植生調査(講師: 根本 淳)

原則として毎月第3日曜に活動しています。関心のある方はぜひ環境保全課にお問い合わせください。直接地域センターに来訪も可です。

れんらく会

10/17(月) 18:30~20:30

場所: たづくり6階 601会議室

内容: 活動グループ情報交換など

市内で自然環境の保全活動しているグループ・個人の情報交換の場です。初めての方もどうぞ。

懇談会-運営委員会

10/11(月) 18:30~20:30

場所: たづくり3階 301会議室

内容: 崖線樹林の保全と活用について
全体会について ほか

調布の自然環境について市民と行政で話し合います。興味のある方はどなたでも参加歓迎です。

ちょうふ環境市民懇談会は調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、話し合いなどの活動をしています。ぜひご参加ください。

調布市環境モニター

『調布・そぞろ歩き』のお知らせ

環境モニター活動では年に2回、市内の自然や樹木、暮らしを見てあるく「調布・そぞろ歩き」を実施しています。秋の日に、のんびりと調布のいい所を歩いてみませんか。

日時: 10月29日(土) 10:00~12:30

集合: 深大寺山門前

テーマ: 深大寺南側の、緑と湧水にかこまれた生活を見て歩く

内容: 崖線の自然と土地利用の話、
青渭神社のケヤキの見学 など

申込・問合せ: 0424-81-7086(環境保全課)



青渭神社のケヤキ



深大寺門前、崖線沿いの風景

これまでのそぞろ歩き参加者の感想から
・調布の知らない場所に来られて色々な観察ができるのが楽しい。
・いくつかの新しい発見があった。これからの散歩の楽しみが増えた。
・一歩中に入ると、こんなに昔のままの自然が保存されていることに驚きました。
・近所でも知らない事が多く、嬉しかった。

編集後記

すっかり秋になりました。市内の樹林の中では、どんぐりが拾えます。そして地面をよくみると、キノコもたくさん生えています。キノコを見ながら考えるのは、やっぱり「食べられるのかな、これ」。自信を持って見分けられるものはほとんどないので、いつも結局見るだけ…。だれかキノコの見分けを教えてくださいませんか、と思うこのごろです。編集当番: はにゅうだ

発行: ちょうふ環境市民懇談会

連絡先: 調布市環境保全課 tel 0424-81-7086
E-mail: kankyous@w2.city.chofu.tokyo.jp